



白川郷荻町集落の自然環境を守る会

発行 平成23年12月号

【荻町区民の皆様へご案内】

12月23日は、荻町公民館に集合！！

**白川郷荻町集落の自然環境を守る住民憲章制定及び守る会結成40周年記念
(重要伝統的建造物群保存地区選定35周年記念)
記念住民集会『感謝の集い』のご案内**

みだしのイベントが間近に迫ってまいりましたので、再度ご案内申し上げます。

昭和46年12月に制定しました「白川郷荻町集落の自然環境を守る住民憲章」及び同年結成の「守る会」は、本年をもちまして40周年を迎えることとなりました。合掌造りと自然環境を守り地域振興につなげることを目的にスタートした守る会は、昭和51年の「重伝建」の選定、平成7年の「世界遺産」の登録という栄誉とともに、多くの方々のご支援に支えられ今日に至りました。

そこで、みだしの記念行事を下記の通り開催いたします。先人や諸先輩方の取り組みを振り返り、それに学び、感謝し、次代へつなぐ会にしたいと準備を進めております。そして、何よりも当日の主役は荻町に住むみなさんです。多くの住民が集い、語り、感じていただくことが、今回の最大の目的です。どうか多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【文責：板並】

記

1. 日 時 12月 23日(金・天皇誕生日) 13:00~20:30

2. 場 所 荻町多目的集会施設

3. 内 容

13:00~ 記念式典(挨拶・感謝状贈呈・韓国河回里交流協定紹介・来賓祝辞・韓国河回里映像紹介等)

14:10~ 記念講演 (財)日本交通公社 観光調査部長 寺崎竜雄氏

14:55~ アトラクション(民謡クラブと有志による白川音頭)

15:25~ 集落の昔を振り返る映像

15:50~ 座談会

~みんなで語ろう、白川の昔・今・未来~

16:50~ 住民憲章の確認

17:20~ 懇親会 (酒宴、荻町民謡披露、
韓国仮面舞 他)

20:30 終了
(午前中に『白川村荻町 韓国安東市河回里 姉妹集落締結式』を開催)

4. 主 催 白川郷荻町集落の自然環境を守る会
白川村教育委員会

5. 後 援 荻町区、白川村、
(財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団



[平成19年度三村交流会の一コマ]

いま駐車場問題に答えが求められている！！

「合掌造りと農山村の景観」が世界遺産になっている白川郷。それらを阻害する駐車場の問題が、いくつもの新聞に取り上げられています。その中より、平成23年10月31日付の朝日新聞（夕刊）、「窓～論説委員室から～」に「世界遺産に迫る危機」と題して掲載された記事を全文紹介いたします。

朝もやに合掌造りの屋根がぼんやり浮かぶ。墨絵の中に身を置くような幻惑は、この山里を早朝に歩く者への恩恵だろう。しかし、近づくと興ざめな光景も目にするようになる。合掌民家を囲んで、ドカン、ドカンと駐車しているクルマだ。

「白川郷・五箇山の合掌造り集落」が世界文化遺産に登録されて16年になる。3年前に東海北陸自動車道が全通し、観光客はまた増えた。岐阜県白川村荻町の人たちは、世界遺産で暮らしながら世界遺産のまま残す気苦労を重ねている。

村ではいま、農地をつぶして駐車場を広げた土産物店や、100台ほどの大規模な有料駐車場を造ったケースが問題視されている。若者に働く場所ができ、街から子どもが戻るようになって、住民の大きなSUVや輸入車も目につくようになった。

高度成長期、離村に伴って合掌造りの建物が売られ、移築された。40年前には「売らない」「貸さない」「こわさない」と集落を守る憲章をつくった。これが原点だった。

合掌屋根のふき替えを助け合う「結」も続く。いまま集落の会合では、よその家への批判は出ない。

ユネスコ世界遺産委員会は来年7月までに、合掌集落の保存と管理状態の報告を求めている。ずっと目をつむってきた難題に、答えが求められている。〈六郷孝也〉

地元新聞以外にも、読売新聞・朝日新聞といった全国紙、遠くは愛媛新聞に掲載された記事を知人が送ってくれました。私たちが感じる以上に世間は、いまの荻町の状況をよしとしていません。様々な形で警告を発しています。そのことを、住民一人ひとりが危機感をもって認識すべきです。そして、行政と住民が一体となって、解決にむけた行動を取らなければ、大変な事態が待っていると考えるべきです。世界遺産白川郷を胸を張って子や孫の代についでいくためにも、いまこの状況をみんなで力を合わせて解決していきましょう。それが、40周年という記念すべき節目の年なのです。 [文責：和田]

セガ岩倉庫冬期活用状況……

セガ岩倉庫23年度冬期活用を開始しました。現時点で12名合計21台の車両・農業機械等を保管しました。景観保全にご協力いただき、心より感謝申し上げます。使用料につきましては、事務局より後日請求をいたしますので、期日までに振り込みをお願いいたします。なお使用料は、最終的に「世界遺産白川郷合掌保存基金」にプールいたします。22年度冬期分の23,600円と23年度夏期分の34,000円、合計57,600円は、12月5日付で同基金に振り込みを済ませましたことを、合わせてご報告いたします。 [一般環境部長・事務局]

守る会の活動指針 (国際フォーラム白川郷宣言より)

- (1) 隣人にやさしい心豊かで安全な共同生活のいっそうの充実
- (2) かけがえのない美しい文化遺産の保全と未来への確かな継承
- (3) 国内外の人々との文化交流を通して友好の輪の拡大

11月の活動報告 =

- 11月 6日 一斉放水 (荻町集落内放水銃の点検・訓練)
- 11月 9日 特別職との地域座談会
- 11月 10日 11月定例会
- 11月 12日 ねそ11月号配付
- 11月 13日 旧寺口家屋根の部分修復作業
- 11月 25日 40周年記念事業拡大打ち合わせ会
- 11月 26日 旧寺口家雪囲い作業

[※1月の定例会は20日(金)を予定しています。]

= 区民の皆様へ =

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をお願いします。

☆12月の協議事項 (現状変更申請に関わって) ☆

****・・・仮設車庫
白川村・・・防災行政無線屋外拡声子局

中部電力・・・電柱立替 (伝建地区外)
****・・・倉庫2階増築